

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 10 日

事務事業名		学校評議員設置事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000162
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201		学校教育の充実				課長名	学校教育課
	政策名	02		生きがいを育む学びのまちづくり				グループ	総務グループ
	施策名	01		学校教育の充実				担当者名	
	手段名	02		②教育体制の充実					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	02	02	00	単年度繰返し (平成17年度～)		
法令根拠						事務局事業			
桜川市立学校学校評議員設置要綱						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
学校及び幼稚園が地域住民、保護者、有識者等から広く意見を聞き地域社会と連携することにより、開かれた学校づくりを推進する。 年度始め 学校評議員の委嘱(1年間) 1校・園あたりの学校評議員数 5名以内 学校評議員会の開催 3学期のうち、2回～3回程度	学校長へ学校評議員の推薦依頼、委嘱書送付、新規債権者登録、1～3学期学校評議員会報告受理、報酬支払

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
学校長へ学校評議員の推薦依頼、委嘱書送付、新規債権者登録、1～3学期学校評議員会報告受理、報酬支払	会議、行事等への参加回数	回	34.00	45.00	42.00	42.00	42.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
学校評議員	学校評議員数	人	69.00	66.00	66.00	66.00	66.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
地域に開かれた学校づくりを推進する。	地域の開かれた学校経営を実施した学校数	校	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
	地域の開かれた学校経営を実施した幼稚園数		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	381	405	594
	事業費計(A) 千円	381	405	594	
	正規職員従事人数 人	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)		02年度事業費 予算(千円)	
	01 報酬	405	01 報酬	594
		合計	405	合計

事務事業名	学校評議員設置事業	事務事業No.	20102000162	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 学校及び幼稚園が地域住民、保護者、有識者等から広く意見を聞き地域社会と連携することにより、開かれた学校づくりを推進するため、市内全学校・幼稚園で実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市立学校管理規則で行っている。開かれた学校づくりは学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 学校評議員の意見を参考にすることにより、一層の地域に開かれた学校づくりを推進できるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 各学校・幼稚園で自主運営されているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 開かれた学校づくりの推進に影響が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 学校評議員の報酬は市の条例で定められている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の小中学校・幼稚園を対象としているので、公平・公正な事業と言える。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	学校及び幼稚園が地域住民、保護者、有識者等から広く意見を聞き地域社会と連携することにより、開かれた学校づくりを推進することは、大変重要なことであり、今後も引き続き事業をおこなっていく。地域に密着した年配の方の推薦が多くみられる。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持	○	×	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <span style="float: right;">⑧</span>																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/> 確認	